

会議録（案）

会議の名称	平成29年度 第1回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成29年8月31日（木） 午後7時から午後8時30分
開催場所	保谷庁舎 別棟A会議室
出席者	委員：赤澤委員長、廣瀬副委員長、有賀委員、岸上委員、島田委員、 中平委員、西田委員、山本委員、中村委員、田邊委員 事務局：丸山市長、田中文化振興課長、栗林文化振興係長、 圓田文化振興係主事
議題	1 市長あいさつ 2 依頼状交付 3 自己紹介 4 委員会の運営について 5 平成29年度推進委員会及び計画推進スケジュールについて 6 その他
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 西東京市文化芸術振興推進委員会設置要綱 資料2 西東京市文化芸術振興推進委員会傍聴要領 資料3 西東京市文化芸術振興推進委員会名簿 資料4 平成29年度推進委員会及び計画推進スケジュールについて 資料5 平成28年度「対話による美術鑑賞」事業実施報告 資料6 「平成28年度施策・事業評価(平成27年度分)」評価結果報告書 〈新委員への配布資料〉 ・西東京市文化芸術振興計画及び概要版 〈参考資料〉 ・「平成29年度西東京市民文化祭PR in アスタ」チラシ ・「日本の文化体験フェス in 市民文化祭」チラシ ・「ぐるめぐキャンペーン」リーフレット ・西東京市文化財保存・活用計画及び概要版
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
≪開会≫ 1 市長あいさつ 2 依頼状交付	

- ・今年度から会議に参加する委員に、市長より依頼状を交付した。

3 自己紹介

- ・各委員が自己紹介を行った。

4 委員会の運営について

- ・事務局から資料 1 に基づき委員会運営について説明

【委員会の傍聴について】

○委員会：

- ・委員会の傍聴希望者がいた場合は公開する。（今回、傍聴希望者はいなかった）

5 平成29年度推進委員会及び計画推進スケジュールについて

- ・事務局が資料 4 に基づき計画策定のスケジュール、今年度の計画に位置付けられた事業の実施スケジュールを説明

【委員会の開催等について】

○委員：

- ・毎回、次の日程を決めようとする調整が難しくなるので、今日、当面 2 ～ 3 回程度の日程を決めたい。

○委員：

- ・今日は19時から会議が始まっているが、18時の方が都合がよい委員はいるか。

○委員：

- ・会議前に委員長、副委員長と事務局が打ち合わせをするなら、19時開始が現実的だろう。

○委員：

会議の時間は何時間を予定しているのか。

○事務局：

- ・できれば1時間半程度としたい。そのため事務局としては事前に資料を送付し、短い時間で活発に議論いただけるよう準備する。

（第 2 回から第 4 回までの日程を調整）

○事務局：

- ・以下の日程で第 2 回から第 4 回までを開催する。時間はいずれも19時開始、場所は都度連絡する。

第 2 回 10 月 4 日（水）保谷庁舎 1 階会議室

第 3 回 11 月 8 日（水）保谷庁舎 2 階会議室

第 4 回 12 月 4 日（月）保谷庁舎 2 階会議室

6 その他

事務局から議事録の作成について説明（発言者を明記しないことを確認）

【委員による意見交換】

○委員：

・委員には市内で活動している人が多いので、各々の活動について紹介し合い、学ぶための時間を持てるとよいと思う。

○委員：

・傍聴者は市民である必要はあるか。こもればホール館長が傍聴したいと考えているので、市民でなくても傍聴できるなら参加できると伝えたい。

○事務局：

・市民でなくても傍聴できるので、参加いただきたい。

○委員：

・「対話による美術鑑賞」事業の実施回数が少なくなったことを残念に思っている。隔年で開催すると、体験できる学年とそうでない学年にわかれてしまうことも気になっている。予算の関係もあると思うが、検討いただきたい。

○委員：

・商店街に協力いただき、アーティストやミュージシャンが参加するフリーマーケットを開催しているが、周囲の住民の方から騒音の関係で苦情があり、音楽の演奏を控えるようになった。文化活動に理解を得ることも文化振興にかかわることだと思うので、後々、意見交換したい。

○事務局：

・市民会館、中央図書館、田無公民館の合築複合化については、市長の判断により、計画を見直すこととなった。市民会館建替え等に関する今後の対応については庁内で検討を続ける。

○委員：

・市民会館は代替施設があると思うが、公会堂はどのように対応するのか。古い建物なので耐震工事だけで収まるものではないと思う。また、設備も使えなくなるだろう。早急に対応すべきだと思う。

○委員：

中央図書館についても施設としては十分ではないので、喫緊の課題として取り組んでいただきたい。

《閉会》